

「いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくり」

第4は、「いきいきの南富良野
学び楽しむ文化のまちづくり」であ
ります。

近年の少子化や核家族化が急速に
進行する中で、子育ての悩みを抱え
る保護者も多く、青少年の健全な育
成が求められています。

特に家庭での教育力の低下が叫ば
れている今日、教育の基本である家
庭において、幼児期における親子の
ふれあいと絆を深めることが重要で
あり、町の将来を担う子ども達の家
庭における教育を推進することを目
的とした「ブックスタート事業」の
対象者を就学前まで拡大し各家庭に
対し絵本を贈呈し、絵本の読み聞か
せを通じた親子の愛情を育み、家庭
教育の向上に努めます。

北落合除雪管理センターは、地区
で唯一の公共施設として、また、公
民館分館として地域のコミュニテイ
活動としての各種行事や会議などと
して利用されておりですが、大勢の
住民が使用する場合は、部屋数が少
なく不便を来たしておりますことか
ら、一部を改修し利便性の向上を
図つてまいります。

また、生活環境の向上を図るため
計画的に実施しております教員住宅
の水洗化につきましては、落合教員

住宅9号棟（1棟2戸）の水洗化工
事の予算を計上しました。

「つるおいの南富良野 快適な生活環境のまちづくり」

第5は、「つるおいの南富良野
快適な生活環境のまちづくり」であ
ります。

本年5月に開設いたしました金山
地区の特別養護老人ホームと隣接し
ております金山新団地の団地内道路
であります金山特養線について、道
路改良と舗装工事を実施する予算を
計上しました。

また、本年3月末で時限となりま
した持家住宅促進事業は、これまで
の助成項目に加え、本町へ移住し住
宅を新築した場合の加算や中古住宅
の改修費に対し助成するなどの見直
しを行い、移住や持家を促すことか
ら定住人口の増加を目指す持家促進
支援制度として実施します。

「のびのびの南富良野 共につくるまちづくり」

第6は、「のびのびの南富良野
共につくるまちづくり」であります。

町民と行政が連携し、魅力ある個
性的で効率的な行政運営を目指す
ため、移動町長室や町長への手紙な
どの広報広聴活動、まちづくり研修

事業を実施し、町民のまちづくり意
識の高揚に務めるとともに、聖域な
き行政改革の断行によりスリムで
効率的な行政を実現し、住民参画
による協働するまちづくりを進めま
す。

また、「町史編さん」のため、昨
年7月から取り組んでまいりました
資料収集については、6月末をもつ
て終了する予定でありますので、7
月から執筆作業を開始するための関
係予算を計上しました。

テレビ放送局の地上波デジタル化
につきましては、国の政策により平
成23年7月24日で現行のアナログ放
送を中止し、デジタル放送に完全移
行するものですが、町内の金山と幾
寅のテレビ中継局の整備については
NHKは平成21年度に整備する計画
になっており、HBC・STV・U
HB・HTBの民放各社につきまし
ては、先般、民放事業者から金山中
継局を平成21年度、幾寅中継局を平
成22年度にデジタル化整備する旨の
説明があったところです。

民放放送局の整備費用は全額民放
負担となりますが、国の補助制度か
ら、一部の整備について町が事業実施
主体となる必要があることから、町
民の情報手段確保のため、民放各社
との連携を図りながらデジタル化整
備を推進します。

また、町内2箇所の共同受信組合

のデジタル化については、NHKが
整備しますが、整備方法や時期が明
らかにされていませんので、共同受
信組合と連携して要請するなど整備
推進に努めます。

以上、町政に取り組む基本的な考
えと、今回提案しました補正予算案
などの主なものについてご説明をさ
せていただいたところです。その結
果、一般会計補正予算および特別会
計補正予算につきましては、一般会
計1億1,464万7千円追加、国
民健康保険事業特別会計58万6千円
追加、老人保健特別会計625万2
千円減額、介護保険事業特別会計5
万1千円追加、介護サービス事業特
別会計1,880万円追加、以上、5
会計で1億2,783万2千円の追
加補正額といたした次第であります。
専決処分としたログホテルライチポ
イラー取替工事511万4千円を加
え、総額で4億3,573万5千円
となり、対前年度当初予算比では、
26.9%減の予算編成となっております。

今後、課題が多岐にわたり山積
し、幾多の困難も予想されますが、
直面する諸課題に職員とともに積極
的に取り組み、町民福祉の向上に渾
身の努力をする所存であります。

議員各位をはじめ町民皆様のご支
援、ご協力を心からお願ひ申し上げ、
町政執行方針といたします。